

消 防 予 第 1 2 8 号
平成 2 1 年 3 月 3 0 日

各都道府県消防防災主管部長 }
東京消防庁・各指定都市消防長 } 殿

消 防 庁 予 防 課 長

消防用設備等の点検の基準及び消防用設備等点検結果報告書に添付する点検票の様式を定める件の一部を改正する件等の公布について(通知)

「消防用設備等の点検の基準及び消防用設備等点検結果報告書に添付する点検票の様式を定める件の一部を改正する件」(平成 2 1 年消防庁告示第 9 号。以下「9 号告示」という。)及び「消防用設備等試験結果報告書の様式を定める件の一部を改正する件」(平成 2 1 年消防庁告示第 1 0 号。以下「1 0 号告示」という。)が、平成 2 1 年 3 月 3 0 日に公布されました。

今回の告示改正は、特定施設水道連結型スプリンクラー設備及び特定火災通報装置に係る点検の基準及び点検票の様式、試験結果報告書の様式を定めるものです。

貴職におかれましては、下記事項に留意の上、その運用に十分配慮されるとともに、各都道府県消防防災主管部長にあっては、貴都道府県内の市町村(消防の事務を処理する一部事務組合等を含む。)に対しても、この旨周知されるようお願いします。

記

第一 改正事項

- 1 スプリンクラー設備の点検基準及び点検票に特定施設水道連結型スプリンクラーに関する点検項目として次の(1)及び(2)が追加されたこと。(9号告示関係)
 - (1) 機器点検に関する事項
 - ア 水道の用に供する水管を水源とする場合、水源の点検を除外するものとしたこと。
 - イ ポンプ方式の加圧送水装置に次の(ア)から(ウ)までに定める規定を追加するものとしたこと。
 - (ア) 内燃機関の制御装置の点検項目として回転計
 - (イ) 内燃機関の点検項目として燃料
 - (ウ) 補助水槽
 - (2) 総合点検に関する事項
 - ア 放水圧力の点検項目に、末端試験弁を設けない特定施設水道連結型スプリンクラー設備にあっては、末端における放水圧力が規定圧力範囲内であることを追加するものとしたこと。
 - イ 加圧送水装置を設けない特定施設水道連結型スプリンクラー設備を水道連

結方式と規定し、次の(ア)及び(イ)の事項を追加するものとしたこと。

(ア) 放水圧力として、末端試験弁において規定圧力範囲内であること又は末端試験弁を設けない特定施設水道連結型スプリンクラー設備にあっては末端における放水圧力が規定圧力範囲内であること。

(イ) 減圧のための措置として、機能が正常であること。

2 消防機関へ通報する火災報知設備の点検基準及び点検票に機器点検に関する事項として次の(1)及び(2)が追加されたこと。(9号告示関係)

(1) 通報頭出し機能について、蓄積音声情報を2回繰り返すなど一区切りの蓄積音声情報を全て聞き取ることができるよう措置されている場合は、必ずしも頭出しの必要がないとしたこと。

(2) ハンズフリー機能を有する特定火災通報装置に関する点検項目として通話機能等に次のアからウまでの事項を追加したこと。

ア ハンズフリー通話への移行

イ 切替

ウ 電話回線の保持

3 スプリンクラー設備試験結果報告書の様式に特定施設水道連結型スプリンクラー設備に関する外観試験の項目として次の(1)及び(2)が追加されたこと。(10号告示関係)

(1) 水道の用に供する水管を水源とする場合、水源の試験を除外するものとしたこと。

(2) ポンプ方式の加圧送水装置に内燃機関の仕様、燃料タンク、蓄電池及び補助水槽を追加するもの。

4 消防機関へ通報する火災報知設備試験結果報告書の様式にハンズフリー通話機能を有する特定火災通報装置に関する試験項目中機能試験に関する事項として次の(1)から(3)までが追加されたこと。(10号告示関係)

(1) ハンズフリー通話への移行状況

(2) 切替状況

(3) 電話回線の保持状況

第二 施行期日

今回の告示の改正は、平成21年4月1日から施行するものとされたこと。

第三 経過措置

9号告示による改正後の「消防用設備等の点検の基準及び消防用設備等点検結果報告書に添付する点検票の様式を定める件」別記様式第3及び別記様式13及び10号告示による改正後の「消防用設備等試験結果報告書の様式を定める件」別記様式第3及び14に規定する様式は、第二にかかわらず、平成21年9月30日までの間は、なお従来のもを用いることができることとされたこと。

○消防庁告示第九号

消防法施行規則の規定に基づき、消防用設備等又は特殊消防用設備等の種類及び点検内容に応じて行う点検の期間、点検の方法並びに点検の結果についての報告書の様式を定める件（平成十六年消防庁告示第九号）第二第一号及び第二号並びに第四の規定に基づき、消防用設備等の点検の基準及び消防用設備等点検結果報告書に添付する点検票の様式を定める件（昭和五十年消防庁告示第十四号）の一部を次のように改正する。

平成二十一年三月三十日

消防庁長官 岡本 保

別表第三 1 (1) 中「水道」の下に「（水道の用に供する水塔を水道とするものを含む。）」を加え、同表 1 (2) ア(ア) 中「自動機」の下に「及び自動機」を加え、同表 1 (2) ア(ア) 中 k を l とし、e から j まですを f から k ままでとし、d の次に次のように加える。

○ 回費率

変形、損傷等がなく、指示値が適正であること。

別表第三 1 (2) ア(ウ) 中「自動機」の下に「及び自動機」を加え、同表 1 (2) ア(ウ) 中 e を f とし、d の次に次のように加える。

○ 燃費

規定量が確保されていること。

別表第三1②ア(カ)の次に次のように加える。

(キ) 補助水槽

a 貯水槽

変形、損傷、漏水、漏気、著しい腐食等がないこと。

b 水状

著しい腐敗、浮遊物、沈殿物等がないこと。

c 給水装置

変形、損傷、著しい腐食等がなく、機能が正常であること。

d バルブ類

漏れ、変形、損傷等がなく、開閉位置が正常で、かつ、開閉操作が容易にできること。

別表第三2①イ②中「あること。」のトビ「なお、末端試験弁を設けない特定施設水道連結型スプリンクラー設備にあつては、末端における放水圧力が規定圧力範囲内であること。」を加え、同表2①イ②中「あること。」のトビ「なお、末端試験弁を設けない特定施設水道連結型スプリンクラー設備にあつては、末端における放水圧力が規定圧力範囲内であること。」を加え、同表2①イの次に次のように加える。

ウ 水道連結方式（加圧送水装置を設けないものに限る。）

(7) 放水圧力

末端試験弁において規定圧力範囲内であること。なお、末端試験弁を設けない特定施設水道連結型スプリンクラー設備にあつては、末端における放水圧力が規定圧力範囲内であること。

(1) 減圧のための措置

機能が正常であること。

別表第三の二(2)イの次に次のように加える。

ウ 水道連結方式（加圧送水装置を設けないものに限る。）

(7) 一斉開放弁

正常に作動すること。

(1) 減圧のための措置

機能が正常であること。

別表第十三(二)イ(ウ)中「始まること」を「始まるか又は一区切りの蓄積音声情報を全て聞き取ることができること」に改め、同表(1)イ(サ)中「通話機能等」の下の「（特定火災通報装置を除く。）」を加え、同表(1)イ中(シ)を(ス)とし、(サ)の次に次のように加える。

④ 通話機能等（特定火災通報装置に限る。）

a ハンズフリー通話への移行

蓄積音声情報を送出した後に、自動的にハンズフリー通話機能による通話に移行すること。

b 切替

蓄積音声情報送出中においても、手動操作により、ハンズフリー通話機能による通話ができること。

c 電話回線の保持

通報中に電話回線が開放されないこと。

別記様式第三を次のように改める。

別記様式第3

(その1)

スプリンクラー設備点検票						
名称				防火管理者	⑩	
所在				立会者	⑩	
点検種別	機器・総合	点検年月日	年 月 日～ 年 月 日			
点検者	資格番号	点検者 所属会社	社名		TEL	
	氏名		住所			
点検設備名	ポンプ	製造者名		電動機・ 内燃機関	製造者名	
		型式等			型式等	
点検項目		点検結果			措置内容	
		種別・容量等の内容	判定	不良内容		
機 器 点 検						
水 源 (水道の用に供 する水管を水源 とするものを除 く。)	貯水槽	種別				
	水量		m ³			
	水 状					
	給水装置					
	水位計					
	圧力計					
	バルブ類					
加 圧 送 水 装 置	ポ ン プ 機 関 の 制 御 装 置	周囲の状況				
		外形				
		表示				
		電圧計・電流計	V	A		
		回転計		r/min		
		開閉器・スイッチ類				
		ヒューズ類		A		
		継電器				
		表示灯				
		結線接続				
		接地				
		予備品等				

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
- 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
- 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
- 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

別記様式第3

スプリンクラー設備(その2)

加圧送水装置	起動装置	手動式起動 操作部	周囲の状況						
			外形						
			表示						
			機能						
		自動式起動装置	起閉装置 開閉装置 起動用水圧	圧力スイッチ	設定圧力	MPa			
				起動用圧力タンク		MPa			
				機能	作動圧力	MPa			
		火災感知装置	知装置 火災感知	感知器	専用	兼用			
				閉鎖型SPヘッド					
		電動機・内燃機	外形						
	回転軸								
	軸受部								
	軸継手								
	燃料								
	ポンプ	外形							
		回転軸							
		軸受部							
		グラウンド部							
		連成計・圧力計							
	呼水装置	性能		MPa	ℓ/min				
		呼水槽			ℓ				
		バルブ類							
		自動給水装置							
		減水警報装置							
	補助水槽	フート弁							
		性能試験装置							
		貯水槽							
水状									
高圧	給水装置								
	バルブ類								
減圧	高架水槽方式			MPa					
	圧力水槽方式			MPa					
減圧のための措置									

- 備考
- 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
 - 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
 - 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
 - 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
 - 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

別記様式第3

スプリンクラー設備(その3)

配管等	管・管継手				
	支持金具・つり金具				
	バルブ類				
	ろ過装置				
	逃し配管				
	流水検知装置二次側配管				
送水口	標識				
	周囲の状況				
	外形				
スプリンクラーヘッド	標識				
	外形				
	感熱障害				
	散水分布障害				
流水検知装置・圧力検知装置	未警戒部分				
	適応性				
	バルブ本体等		MPa		
	リターディング・チャンバー				
	圧力スイッチ		設定圧力 MPa 作動圧力 MPa		
音響警報装置・表示装置					
減圧警報装置					
一斉開放弁(電磁弁を含む。)					
排水設備					
補助散水栓箱等	補助散水栓箱	周囲の状況			
		外形			
		表示			
	ホース・ノズル	外形	鑑栓第一号		
		操作性			
	補助散水栓開閉弁				
	表示灯				
使用方法の表示					
耐震措置					

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

別記様式第3

スプリンクラー設備(その4)

総合点検						
閉鎖型スプリンクラー設備	ポンプ方式	起動性能等	加圧送水装置			
			表示・警報等			
			電動機の運転電流	A		
			運転状況			
		放水圧力	MPa			
		減圧のための措置				
	高架水槽	方式等	表示・警報等			
			放水圧力	MPa		
			減圧のための措置			
	水道連結式	方式等	放水圧力	MPa		
			減圧のための措置			
	開放型スプリンクラー設備	ポンプ方式	起動性能等	加圧送水装置		
表示・警報等						
電動機の運転電流				A		
運転状況						
一斉開放弁						
減圧のための措置						
高架水槽		方式等	表示・警報等			
			一斉開放弁			
			減圧のための措置			
水道連結式		方式等	一斉開放弁			
			減圧のための措置			

- 備考
- この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
 - 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
 - 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
 - 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
 - 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

別記様式第3

スプリンクラー設備(その5)

補助散水栓	ポンプ	起動性能等	加 圧 送 水 装 置						
			表 示 ・ 警 報 等						
			電 動 機 の 運 転 電 流	A					
			運 転 状 況						
	方 式		放 水 圧 力	MPa					
			放 水 量	ℓ/min					
			減 圧 の た め の 措 置						
	高 架 水 槽 等		表 示 ・ 警 報 等						
			放 水 圧 力	MPa					
			放 水 量	ℓ/min					
			減 圧 の た め の 措 置						
	備考								
測定機器		機 器 名	型 式	校 正 年 月 日	製 造 者 名	機 器 名	型 式	校 正 年 月 日	製 造 者 名

- 備考
- この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
 - 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
 - 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
 - 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
 - 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

別記様式第十三（その一）を次のように改める。

消防機関へ通報する火災報知設備点検票							
名 称				防 火 管理者	㊟		
所 在				立会者	㊟		
点検種別	機 器	点検年月日	年 月 日～ 年 月 日				
点 検 者	資格 番号	点 検 者 所属会社	社名 TEL				
	氏名 ㊟		住所				
点 検 項 目		点 検 結 果			措 置 内 容		
		種別・容量等の内容	判 定	不 良 内 容			
機 器 点 検							
火 災 通 報 装 置 本 体	予 備 電 源	外 形					
		表 示					
		結 線 接 続					
		電 圧		V			
		切 替 装 置					
		充 電 装 置					
	火 災 通 報 装 置 本 体	周 囲 の 状 況					
		外 形					
		表 示					
		ヒ ュ ー ズ 類		A			
		予 備 品 等					
		起 動 機 能					
		優 先 通 報 機 能					
		通 報 頭 出 し 機 能					
		蓄 積 音 声 情 報 機 能					
		再 呼 出 し 機 能					
		通 話 機 能 等 (特定火 災通報装 置を除く。)	消防機関側からの呼返し				
			不応答時の通報継続				
			切 替				
			通話中断時の呼返し				
通 話 機 能 等 (特定火 災通報装 置に限る。)	ハンズフリー通話 への移行						
	切 替						
	電話回線の保持						
モ ニ タ ー 機 能							

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
- 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
- 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
- 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

附 則

1 この告示は、平成二十一年四月一日から施行する。

2 この告示による改正後の消防用設備等の点検の基準及び消防用設備等点検結果報告書に添付する点検票の様式を定める件別記様式第三及び別記様式第十三に規定する様式は、前項の規定にかかわらず、平成二十一年九月三十日までの間は、なお従前の例によることができる。

○ 消防用設備等の点検の基準及び消防用設備等点検結果報告書に添付する点検票の様式を定める件の一部を改正する件 新旧対照表
 消防用設備等の点検基準及び消防用設備等点検結果報告書に添付する点検票の様式を定める件(昭和 50 年消防庁告示第 14 号)

(傍線は改正部分)

改 正 後	改 正 前
<p>別表第 3 スプリンクラー設備の点検の基準</p> <p>1 機器点検</p> <p>次の事項について確認すること。</p> <p>(1) <u>水源(水道の用に供する水管を水源とするものを除く。)</u></p> <p>ア～キ (略)</p> <p>(2) 加圧送水装置</p> <p>ア ポンプ方式</p> <p><u>(ア) 電動機及び内燃機関の制御装置</u></p> <p>a～c (略)</p> <p>d 電圧計及び電流計</p> <p>変形、損傷等がなく、指示値が適正であること。</p> <p><u>e 回転計</u></p> <p><u>変形、損傷等がなく、指示値が適正であること。</u></p> <p><u>f 開閉器及びスイッチ類</u></p> <p>変形、損傷、脱落、端子の緩み等がなく、開閉位置が正常で、かつ、開閉機能が正常であること。</p> <p><u>g ヒューズ類</u></p> <p>損傷、溶断等がなく、所定の種類及び容量のものが使用されていること。</p>	<p>別表第 3 スプリンクラー設備の点検の基準</p> <p>1 機器点検</p> <p>次の事項について確認すること。</p> <p>(1) 水源_____</p> <p>ア～キ (略)</p> <p>(2) 加圧送水装置</p> <p>ア ポンプ方式</p> <p>(ア) 電動機_____の制御装置</p> <p>a～c (略)</p> <p>d 電圧計及び電流計</p> <p>変形、損傷等がなく、指示値が適正であること。</p> <p><u>e 開閉器及びスイッチ類</u></p> <p>変形、損傷、脱落、端子の緩み等がなく、開閉位置が正常で、かつ、開閉機能が正常であること。</p> <p><u>f ヒューズ類</u></p> <p>損傷、溶断等がなく、所定の種類及び容量のものが使用されていること。</p>

h 継電器

脱落、端子の緩み、接点の焼損、ほこりの付着等がなく、機能が正常であること。

i 表示灯

正常に点灯すること。

j 結線接続

断線、端子の緩み、脱落、損傷等がないこと。

k 接地

著しい腐食、断線等がないこと。

l 予備品等

予備品及び回路図等が備えてあること。

(イ) (略)

(ウ) 電動機及び内燃機関

a ~ d (略)

e 燃料

規定量が確保されていること。

f 機能

正常であること。

(I) ~ (カ) (略)

(キ) 補助水槽

a 貯水槽

変形、損傷、漏水、漏気、著しい腐食等がないこと。

b 水状

g 継電器

脱落、端子の緩み、接点の焼損、ほこりの付着等がなく、機能が正常であること。

h 表示灯

正常に点灯すること。

i 結線接続

断線、端子の緩み、脱落、損傷等がないこと。

j 接地

著しい腐食、断線等がないこと。

k 予備品等

予備品及び回路図等が備えてあること。

(イ) (略)

(ウ) 電動機_____

a ~ d (略)

e 機能

正常であること。

(I) ~ (カ) (略)

著しい腐敗、浮遊物、沈殿物等がなく、使用上支障がないこと。

c 給水装置

変形、損傷、著しい腐食等がなく、機能が正常であること。

d バルブ類

漏れ、変形、損傷等がなく、開閉位置が正常で、かつ、開閉操作が容易にできること。

イ～ウ (略)

(3)～(11) (略)

2 総合点検

(1) 閉鎖型スプリンクラーヘッドを用いるスプリンクラー設備

非常電源に切り替えた状態で、末端試験弁の開放操作等により起動させ、次の事項について確認すること。

ア ポンプ方式

(ア) (略)

(イ) 放水圧力

末端試験弁において規定圧力範囲内であること。なお、末端試験弁を設けない特定施設水道連結型スプリンクラー設備にあっては、末端における放水圧力が規定圧力範囲内であること。

(ウ) 減圧のための措置

機能が正常であること。

イ 高架水槽方式及び圧力水槽方式

(ア) (略)

(イ) 放水圧力

イ～ウ (略)

(3)～(11) (略)

2 総合点検

(1) 閉鎖型スプリンクラーヘッドを用いるスプリンクラー設備

非常電源に切り替えた状態で、末端試験弁の開放操作等により起動させ、次の事項について確認すること。

ア ポンプ方式

(ア) (略)

(イ) 放水圧力

末端試験弁において規定圧力範囲内であること。 _____

(ウ) 減圧のための措置

機能が正常であること。

イ 高架水槽方式及び圧力水槽方式

(ア) (略)

(イ) 放水圧力

末端試験弁において規定圧力範囲内であること。なお、末端試験弁を設けない特定施設水道連結型スプリンクラー設備にあっては、末端における放水圧力が規定圧力範囲内であること。

(ウ) (略)

ウ 水道連結方式（加圧送水装置を設けないものに限る。）

(ア) 放水圧力

末端試験弁において規定圧力範囲内であること。なお、末端試験弁を設けない特定施設水道連結型スプリンクラー設備にあっては、末端における放水圧力が規定圧力範囲内であること。

(イ) 減圧のための措置

機能が正常であること。

(2) 開放型スプリンクラーヘッドを用いるスプリンクラー設備

非常電源に切り替えた状態で、手動式起動操作部の操作又は自動式起動装置の作動により起動させ、次の事項について確認すること。

ア～イ (略)

ウ 水道連結方式（加圧送水装置を設けないものに限る。）

(ア) 一斉開放弁

正常に作動すること。

(イ) 減圧のための措置

機能が正常であること。

(3) (略)

末端試験弁において規定圧力範囲内であること。 _____

(ウ) (略)

(2) 開放型スプリンクラーヘッドを用いるスプリンクラー設備

非常電源に切り替えた状態で、手動式起動操作部の操作又は自動式起動装置の作動により起動させ、次の事項について確認すること。

ア～イ (略)

(3) (略)

別表第13 消防機関へ通報する火災報知設備の点検の基準

機器点検

次の事項について確認すること。

(1) 火災通報装置

ア (略)

イ 本体

(ア)～(キ) (略)

(ク) 通報頭出し機能

蓄積音声の情報が冒頭から始まるか又は一区切りの蓄積音声情報を全て聞き取ることができること。

(ケ)・(コ) (略)

(サ) 通話機能等(特定火災通報装置を除く。)

a 消防機関側からの呼返し

蓄積音声情報を送出した後に、自動的に5秒間電話回線を開放し、消防機関側からの呼返し信号により応答し、通話することができること。

b 不応答時の通報継続

蓄積音声情報を送出した後に、消防機関側からの呼返しが送出されない場合に、繰り返し蓄積音声情報を送出することができること。

c 切替

蓄積音声を通報中に、手動操作により電話回線を送受話器側に切り替えて通話できること。

d 通話中断の呼返し

蓄積音声情報を通報中に強制的に電話回線を開放し、消防機関側から呼

別表第13 消防機関へ通報する火災報知設備の点検の基準

機器点検

次の事項について確認すること。

(1) 火災通報装置

ア (略)

イ 本体

(ア)～(キ) (略)

(ク) 通報頭出し機能

蓄積音声の情報が冒頭から始まること。

(ケ)・(コ) (略)

(サ) 通話機能等

a 消防機関側からの呼返し

蓄積音声情報を送出した後に、自動的に5秒間電話回線を開放し、消防機関側からの呼返し信号により応答し、通話することができること。

b 不応答時の通報継続

蓄積音声情報を送出した後に、消防機関側からの呼返しが送出されない場合に、繰り返し蓄積音声情報を送出することができること。

c 切替

蓄積音声を通報中に、手動操作により電話回線を送受話器側に切り替えて通話できること。

d 通話中断の呼返し

蓄積音声情報を通報中に強制的に電話回線を開放し、消防機関側から呼

返し信号が送出された場合に、火災通報装置側で通話できること。

(シ) 通話機能等（特定火災通報装置に限る。）

a ハンズフリー通話への移行

蓄積音声情報を送出した後に、自動的にハンズフリー通話機能による通話に移行すること。

b 切替

蓄積音声情報送出中においても、手動操作により、ハンズフリー通話機能による通話ができること。

c 電話回線の保持

通報中に電話回線が開放されないこと。

(ズ) (略)

ウ (略)

(2) (略)

返し信号が送出された場合に、火災通報装置側で通話できること。

(シ) (略)

ウ (略)

(2) (略)

消防用設備等の点検の基準及び消防用設備等点検結果報告書に添付する点検票の様式を定める件の一部を改正する件 新旧対照表
 消防用設備等の点検の基準及び消防用設備等点検結果報告書に添付する点検票の様式を定める件（昭和50年消防庁告示第14号）

改正後										現行											
別記様式第3 (その1)					別記様式第3 (その1)					別記様式第3 (その1)					別記様式第3 (その1)						
スプリンクラー設備点検票										スプリンクラー設備点検票											
名称				防火管理者		印				名称				防火管理者		印					
所在				立会者		印				所在				立会者		印					
点検種別		機器・総合		点検年月日		年 月 日~		年 月 日		点検種別		機器・総合		点検年月日		年 月 日~		年 月 日			
点検者		資格番号		点検者所属会社		社名 TEL				点検者		資格番号		点検者所属会社		社名 TEL					
点検設備名		ポンプ		製造者名		電動機・内燃機関		製造者名		点検設備名		ポンプ		製造者名		電動機		製造者名			
		型式等				型式等						型式等				型式等					
点検項目				点検結果				措置内容		点検項目				点検結果				措置内容			
				種別・容量等の内容		判定		不良内容						種別・容量等の内容		判定		不良内容			
機器点検										機器点検											
水 源 (水道の用に供する水管を水源とするものを除く。)		貯水槽		種別						水 源 (水道の用に供する水管を水源とするものを除く。)		貯水槽		種別							
		水量		m ³								水量		m ³							
		水状										水状									
		給水装置										給水装置									
		水位計										水位計									
		圧力計										圧力計									
バルブ類								バルブ類													
加圧送水装置		電動機・内燃機関の制御装置		周囲の状況						加圧送水装置		電動機・内燃機関の制御装置		周囲の状況							
				外形										外形							
				表示										表示							
				電圧計・電流計		V A										電圧計・電流計		V A			
				回転計		r / min										回転計		r / min			
				開閉器・スイッチ類												開閉器・スイッチ類					
				ヒューズ類		A										ヒューズ類		A			
				継電器												継電器					
				表示灯												表示灯					
		結線接続										結線接続									
		接地										接地									
		予備品等										予備品等									
備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。										備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。											
備考 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。										備考 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。											
備考 3 判定欄は、正常の場合は 印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。										備考 3 判定欄は、正常の場合は 印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。											
備考 4 選択肢のある欄は、該当事項に 印を付すこと。										備考 4 選択肢のある欄は、該当事項に 印を付すこと。											
備考 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。										備考 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。											

別記様式第3

スプリンクラー設備(その2)

加 圧 送 水 装 置	起 動 装 置	手 動 式 起 動 機	周 围 の 状 況						
			外 形 示 能						
		自 動 式 起 動 装 置	起 動 用 水 圧	開 閉 装 置	圧 力	設定圧力	MPa		
					ス イ ッ チ	MPa			
	火 災 感 知 装 置	感 知 器	閉 鎖 型	機 能	作動圧力	MPa			
				開 鎖 型	専 用 兼 用				
	電 動 機 ・ 内 燃 機 関	外 形							
		回 転 軸							
		軸 受 部							
		軸 継 手							
	ボ ン プ	外 形							
		回 転 軸							
		軸 受 部							
		グ ラ ン ド 部							
	性 能	連 成 計 ・ 圧 力 計							
		性 能	MPa ℓ/min						
	呼 水 装 置	呼 水 槽							
		パ ル ブ 類							
		自 動 給 水 装 置							
		減 水 警 報 装 置							
性 能 試 験 装 置	フ ー ト 弁								
	性 能 試 験 装 置								
	貯 水 槽								
補 助 水 槽	水 槽 状								
	給 水 装 置								
高 架 水 槽 方 式	パ ル ブ 類								
	高 架 水 槽 方 式				MPa				
圧 力 水 槽 方 式				MPa					
減 圧 の た め の 措 置									

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
 3 判定欄は、正常の場合は 印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
 4 選択肢のある欄は、該当事項に 印を付すこと。
 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

別記様式第3

スプリンクラー設備(その2)

加 圧 送 水 装 置	起 動 装 置	手 動 式 起 動 機	周 围 の 状 況						
			外 形 示 能						
		自 動 式 起 動 装 置	起 動 用 水 圧	開 閉 装 置	圧 力	設定圧力	MPa		
					ス イ ッ チ	MPa			
	火 災 感 知 装 置	感 知 器	閉 鎖 型	機 能	作動圧力	MPa			
				開 鎖 型	専 用 兼 用				
	電 動 機	外 形							
		回 転 軸							
		軸 受 部							
		軸 継 手							
	ボ ン プ	外 形							
		回 転 軸							
		軸 受 部							
		グ ラ ン ド 部							
	性 能	連 成 計 ・ 圧 力 計							
		性 能	MPa ℓ/min						
	呼 水 装 置	呼 水 槽							
		パ ル ブ 類							
		自 動 給 水 装 置							
		減 水 警 報 装 置							
性 能 試 験 装 置	フ ー ト 弁								
	性 能 試 験 装 置								
	貯 水 槽								
高 架 水 槽 方 式	パ ル ブ 類								
	高 架 水 槽 方 式				MPa				
圧 力 水 槽 方 式				MPa					
減 圧 の た め の 措 置									
配 管 等	管 ・ 管 継 手								
	支 持 金 具 ・ つ り 金 具								
	パ ル ブ 類								
	ろ 過 装 置								
逃 し 配 管									
流 水 検 知 装 置 二 次 側 配 管									
標 識									

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
 3 判定欄は、正常の場合は 印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
 4 選択肢のある欄は、該当事項に 印を付すこと。
 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

別記様式第3

スプリンクラー設備 (その3)

配管等	管・管継手					
	支持金具・つり金具					
	バルブ類					
	ろ過装置					
	逃し配管					
	流水検知装置二次側配管					
送水口	周囲の状況					
	外形					
	標識					
スライヘッド	外形					
	感熱障害					
	散水分布障害					
	未警戒部分					
	適応性					
流水検知装置・	バルブ本体等	MPa				
	リターディング・チャンバー					
	圧力スイッチ	設定圧力 MPa 作動圧力 MPa				
	音響警報装置・表示装置					
	減圧警報装置					
一斉開放弁(電磁弁を含む。)						
排水設備						
補助散水栓箱等	補助散水栓箱	周囲の状況				
		外形				
		表示				
	ホース・ノズル	外形	鑑柱第 - 号			
		操作性				
	補助散水栓開閉弁					
表示灯						
使用方法の表示						
耐震措置						

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
 3 判定欄は、正常の場合は 印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
 4 選択肢のある欄は、該当事項に 印を付すこと。
 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

別記様式第3

スプリンクラー設備 (その3)

送水口	周囲の状況					
	外形					
	標識					
スライヘッド	外形					
	感熱障害					
	散水分布障害					
	未警戒部分					
	適応性					
流水検知装置・	バルブ本体等	MPa				
	リターディング・チャンバー					
	圧力スイッチ	設定圧力 MPa 作動圧力 MPa				
	音響警報装置・表示装置					
減圧警報装置						
一斉開放弁(電磁弁を含む。)						
排水設備						
補助散水栓箱等	補助散水栓箱	周囲の状況				
		外形				
		表示				
	ホース・ノズル	外形	鑑柱第 - 号			
		操作性				
	補助散水栓開閉弁					
表示灯						
使用方法の表示						
耐震措置						
総合点検						
閉鎖型スプリンクラー設備	ポンプ方式	起動性能等	加圧送水装置			
		表示・警報等	電動機の運転電流	A		
		運転状況	放水圧力	MPa		
	高架水槽等	表示・警報等	減圧のための措置			
		放水圧力	MPa			
減圧のための措置						

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
 3 判定欄は、正常の場合は 印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
 4 選択肢のある欄は、該当事項に 印を付すこと。
 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

総 合 点 検							
閉鎖型スプリンクラー設備	ポンプ方式	起動性能等	加圧送水装置				
			表示・警報等				
			電動機の運転電流	A			
			運転状況				
		放水圧力	MPa				
	減圧のための措置						
	高架水槽	方式等	表示・警報等				
			放水圧力	MPa			
			減圧のための措置				
	水道連結式	方式	放水圧力	MPa			
減圧のための措置							
開放型スプリンクラー設備	ポンプ方式	起動性能等	加圧送水装置				
			表示・警報等				
			電動機の運転電流	A			
			運転状況				
		一斉開放弁					
	減圧のための措置						
	高架水槽	方式等	表示・警報等				
			一斉開放弁				
			減圧のための措置				
	水道連結式	方式	一斉開放弁				
減圧のための措置							

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格 A 4 とすること。
 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
 3 判定欄は、正常の場合は 印、不良の場合は x 印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
 4 選択肢のある欄は、該当事項に 印を付すこと。
 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

開放型スプリンクラー設備	ポンプ方式	起動性能等	加圧送水装置						
			表示・警報等						
			電動機の運転電流	A					
			運転状況						
		一斉開放弁							
	減圧のための措置								
	高架水槽	方式等	表示・警報等						
			一斉開放弁						
			減圧のための措置						
	水道連結式	方式	表示・警報等						
減圧のための措置									
補助散水栓	ポンプ方式	起動性能等	加圧送水装置						
			表示・警報等						
			電動機の運転電流	A					
			運転状況						
		放水圧力	MPa						
	放水流量	l/min							
	減圧のための措置								
	高架水槽等	方式等	表示・警報等						
			放水圧力	MPa					
			放水流量	l/min					
減圧のための措置									
備考									
	測定機器	機器名	型式	校正年月日	製造者名	機器名	型式	校正年月日	製造者名

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格 A 4 とすること。
 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
 3 判定欄は、正常の場合は 印、不良の場合は x 印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
 4 選択肢のある欄は、該当事項に 印を付すこと。
 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

【新設】

補助散水柱	ボンプ	起動性能等	加圧送水装置				
			表示・警報等				
			電動機の運転電流	A			
			運転状況				
	方式	放水圧力	MPa				
		放水量	ℓ/min				
		減圧のための措置					
	高架水槽等	表示・警報等					
		放水圧力	MPa				
		放水量	ℓ/min				
減圧のための措置							

備考

測定機器	機器名	型式	校正年月日	製造者名	機器名	型式	校正年月日	製造者名

- 備考
- この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
 - 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
 - 判定欄は、正常の場合は 印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
 - 選択肢のある欄は、該当事項に 印を付すこと。
 - 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

消防機関へ通報する火災報知設備点検票					
名称			防火管理者	印	
所在			立会者	印	
点検種別	機器	点検年月日	年 月 日 ~ 年 月 日		
点検者	資格 番号	点検者 所属会社	社名 TEL		
	氏名 印		住所		
点検項目		点検結果			
		種別・容量等の内容	判定	不良内容	
機器点検					
火災通報装置本体	予備電源	外形			
		表示			
		結線接続			
	電圧	電圧	V		
		切替装置			
	充電装置	充電装置			
		周囲の状況			
	外形	外形			
		表示			
	ヒューズ類	A			
	予備品等				
	起動機能				
	優先通報機能				
	通報頭出し機能				
	蓄積音声情報機能				
再呼出し機能					
通話機能等 (特定火災通報装置を除く。)	消防機関側からの呼返し				
	不応答時の通報継続				
通話機能等 (特定火災通報装置に限る。)	切替				
	通話中断時の呼返し				
通話機能等 (特定火災通報装置に限る。)	ハンズフリー通話への移行				
	切替				
電話回線の保持					
モニター機能					

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
 3 判定欄は、正常の場合は 印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
 4 選択肢のある欄は、該当事項に 印を付すこと。
 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

消防機関へ通報する火災報知設備点検票					
名称			防火管理者	印	
所在			立会者	印	
点検種別	機器	点検年月日	年 月 日 ~ 年 月 日		
点検者	資格 番号	点検者 所属会社	社名 TEL		
	氏名 印		住所		
点検項目		点検結果			
		種別・容量等の内容	判定	不良内容	
機器点検					
火災通報装置本体	予備電源	外形			
		表示			
		結線接続			
	電圧	電圧	V		
		切替装置			
	充電装置	充電装置			
		周囲の状況			
	外形	外形			
		表示			
	ヒューズ類	A			
	予備品等				
	起動機能				
	優先通報機能				
	通報頭出し機能				
	蓄積音声情報機能				
再呼出し機能					
通話機能等 (特定火災通報装置を除く。)	消防機関側からの呼返し				
	不応答時の通報継続				
通話機能等 (特定火災通報装置に限る。)	切替				
	通話中断時の呼返し				
通話機能等 (特定火災通報装置に限る。)	ハンズフリー通話への移行				
	切替				
電話回線の保持					
モニター機能					

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
 3 判定欄は、正常の場合は 印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
 4 選択肢のある欄は、該当事項に 印を付すこと。
 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

○消防庁告示第十号

消防法施行規則（昭和三十六年自治省令第六号）第三十一条の三第五項の規定に基づき、消防用設備等試験結果報告書の様式を定める件（平成元年消防庁告示第四号）の一部を次のように改正する。

平成二十一年三月三十日

消防庁長官 岡本 保

別記様式第三を次のように改める。

別記様式第3

スプリンクラー設備試験結果報告書

試験実施日 年 月 日

試験実施者

住所

氏名

印

用途	()項	構造		
延べ面積	m ²	階数	地上 階 地階 階	
加圧送水装置の種別	方式			
流水検知装置の方式	湿式	乾式	予作動式	
スプリンクラーヘッド	種別			
	設置個数			
試験項目		種別・容量等の内容	結果	
外	水 源 (水道の用に供する水管を 水源とするものを除く。)	水源の種類・構造		
		水量	m ³ (縦 m 横 m 有効深さ m)	
		吸水障害防止措置	有 ・ 無	
		給水装置		
		耐震措置	有 ・ 無	
観 試 験	加 圧 送 水 装 置	設置場所		
		ポンプの仕様	製造者名	定格吐出量 ℓ/min
				定格全揚程 m
			型式	製造番号
			電動機の仕様	製造者名
				定格電圧 V
		型式		定格電流 A
		製造番号		出力 kVA
		内燃機関の仕様	製造者名	燃料種別
			型式	定格回転数 r/min
			製造番号	

スプリンクラー設備

試 験 項 目		種 別 ・ 容 量 等 の 内 容	結 果	
外 加 観 送 水 装 置 の 起 動 装 置	ポンプ・電動機・ 内 燃 機 関	設 置 状 況		
		接 地 工 事	種接地	
		配 線		
		潤 滑 油		
		燃 料 タ ン ク		
		蓄 電 池		
	水温上昇防止 のための逃し 装 置	配 管 ・ バ ル ブ 類		
		オ リ フ ィ ス 等	流過口径 mm	
		ブースターポンプに設ける 逃し配管・逃し装置	逃し配管の高さ m	
			逃し装置の設定圧力 MPa	
	性能試験装置の配管・バルブ類			
	呼 水 装 置	材 質	鋼板製・合成樹脂製	
		水 量	ℓ	
		水 用 排 水 管	管の呼び A	
		呼 水 管	管の呼び A	
		補 給 水 管	管の呼び A	
		減 水 警 報 装 置	フロートスイッチ・電極	
	制 御 装 置	設 置 場 所		
		制 御 盤		
		予 備 品 等		
		接 地 工 事	種接地	
	圧力計・連成計	設 置 位 置		
		性 能	級	
	起 動 装 置	直 接 操 作 部		
		起動用水圧 開閉装置	起動用圧力タンク	第2種圧力容器・高圧ガス圧力容器
			タ ン ク の 容 量	ℓ
			配 管 ・ バ ル ブ 類	管の呼び A
		自 動 式 起動装置	閉鎖型スプリンクラーヘッド	
自 動 火 災 感 知 装 置				
手 動 式 起動装置		設 置 場 所 等		
		設 置 高 さ	床面からの高さ m	
		構 造		
		表 示		
流 水 検 知 装 置				
補 助 水 槽				

スプリンクラー設備

試 験 項 目		種 別 ・ 容 量 等 の 内 容		結 果					
外	加 圧 送 水 装 置	高 架 水 槽 を の 用 いる も の	構 造						
			内 容 積 ・ 落 差	m ³	m				
			配 管 ・ バ ル ブ 類						
			水 位 計						
	圧 力 水 槽 を の 用 いる も の	種 類 ・ 構 造	第 2 種 圧 力 容 器 ・ 高 圧 ガ ス 圧 力 容 器						
		内 容 積 ・ 有 効 圧 力	m ³	MPa					
		自 動 加 圧 装 置	有 ・ 無						
		配 管 ・ バ ル ブ 類							
		水 位 計 ・ 圧 力 計							
	耐 震 措 置	有 ・ 無							
観	設 置 状 況								
	機 器	配 管							
		バ ル ブ 類							
		吸 水 管							
		フ ー ト 弁							
	防 食 措 置	有 ・ 無							
	排 水 措 置	有 ・ 無							
耐 震 措 置	有 ・ 無								
試	電 源	常 用 電 源		V					
		非 常 電 源 の 種 類		専 用 受 電 ・ 自 家 発 電 ・ 蓄 電 池					
験	ス プ リ ン ク ラ ー ヘ ッ ド	放 水 区 域 の 数 ・ 設 定 状 況 (開 放 型 ス プ リ ン ク ラ ー ヘ ッ ド に 限 る 。)	階						
			放 水 区 域 の 数						
			設 定 状 況						
	設 置 方 法	配 置 等							
		配 管 へ の 取 付							
		取 付 方 向							
	機 器	閉 鎖 型 ス プ リ ン ク ラ ー ヘ ッ ド	表 示 温 度						
構 造 ・ 性 能									
	開 放 型 ス プ リ ン ク ラ ー ヘ ッ ド								

スプリンクラー設備

試 験 項 目			種 別 ・ 容 量 等 の 内 容	結 果	
外 観 試 験	制 御 弁	設 置 場 所 等			
		設 置 高 さ		床面からの高さ	m
		構 造			
		表 示			
	流 水 検 知 装 置 ・ 圧 力 検 知 装 置	設 置 場 所 等			
		種 別 ・ 口 径			
		減 圧 警 報			
		構 造 ・ 性 能			
	一 斉 開 放 弁	起 動 操 作 部	設 置 場 所 等		
			設 置 高 さ	床面からの高さ	m
		作 動 試 験 装 置			
		構 造 ・ 性 能			
末 端 試 験 弁	設 置 場 所				
	構 造				
	表 示				
自 動 警 報 装 置	音 響 警 報 装 置				
	火 災 表 示 装 置				
送 水 口	設 置 場 所 等	設 置 場 所 等			
		設 置 高 さ		地盤面からの高さ	m
		表 示			
	機 器	結 合 金 具			
		逆 止 弁 等			
減 圧 措 置			減圧補助水槽・別配管系統・減圧弁		
排水設備（放水型ヘッドを用いるスプリンクラー設備に限る。）					
補 助 散 水 栓 等	散 水 栓	散 水 栓 の 設 置 個 数	階		
			設 置 個 数		
		設 置 場 所			
		周 囲 の 状 況 ・ 操 作 性			
		開 閉 弁 の 設 置 高 さ		床面からの高さ	m
		ホ ー ス の 接 続 等			

スプリンクラー設備

試 験 項 目			種 別 ・ 容 量 等 の 内 容	結 果			
外 観 試 験	補 助 散 水 栓 等	散 水 栓	消 火 栓 開 閉 弁				
		散 水 栓 箱	周 囲 の 状 況				
			設 置 状 況				
			材 質 等				
			赤 色 灯				
			表 示				
		ホース・ノズル	ホース(結合金具を含む。)				
			ホース接続口				
			ノズル				
			結合状態				
			収納状態		ホースリール式・折畳等収納式		
		機 能 送 水 装 置 の 試 験	加 圧 を 用 い る も の	呼 水 装 置 作 動 試 験	減水警報装置作動状況	底面からの高さ	cm
					自動給水装置作動状況		
					呼水槽からの水の補給状況		
				制 御 装 置 試 験	起動・停止操作時の状況等		
電源切替時の運転状況							
起 動 装 置 試 験	ポンプの起動状況等						
	起動表示の点灯状況						
	起動用水圧開閉装置の 作 動 圧 力			設定圧力	MPa		
				作動圧力	MPa		
ポ ン プ 試 験	運 転 状 況						
	締 切 り 運 転 時 の 状 況			締切揚程	m		
				電 圧	V		
				電 流	A		
	定 格 負 荷 運 転 時 の 状 況			定格揚程	m		
				電 圧	V		
電 流			A				
水 温 上 昇 防 止 装 置 試 験			逃し水量	ℓ/min			
ポ ン プ 性 能 試 験 装 置 試 験			表示値の差	ℓ/min			
高 架 水 槽 を 用 いる も の	作 動 試 験		給水装置作動状況				
	静 水 圧 測 定		最下位 MPa 最上位 MPa				

スプリンクラー設備

試 験 項 目				種 別 ・ 容 量 等 の 内 容	結 果	
機 能 試 験	加 圧 送 水 装 置 試 験	圧 力 水 槽 を 用 い る も の	作 動 試 験	給 水 装 置 作 動 状 況		
				自 動 加 圧 装 置 作 動 状 況		
		静 水 圧 測 定	最 下 位 MPa 最 上 位 MPa			
	配 管 耐 圧 試 験			試 験 圧 力	MPa	
	手 動 式 起 動 装 置 試 験					
	流 水 検 知 装 置 ・ 表 示 等					
総 合 試 験	放 水	放 水 区 域				
		開 放 型 ス プ リ ン ク ラ ー ヘ ッ ド を 用 い る も の	起 動 性 能 等	自 動 火 災 感 知 装 置 に よ る 起 動		
				手 動 起 動 装 置 に よ る 起 動		
		階				
	試 験	閉 鎖 型 ス プ リ ン ク ラ ー ヘ ッ ド を 用 い る も の	起 動 性 能 等			
			放 水 圧 力 (MPa)			
			放 水 量 (ℓ/min)			
	補 助 散 水 栓	放 水 圧 力		MPa		
		放 水 量		ℓ/min		
	補 助 散 水 栓 操 作 性 試 験				ホ ー ス リ ー ル 式 ・ 折 畳 等 収 納 式	
	非 常 電 源 切 替 試 験	自 家 発 電 設 備				
蓄 電 池 設 備						
備 考						

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格 A 4 とすること。
- 2 選択肢のある欄は、該当する事項を 印で囲むこと。
- 3 印の試験は、「加圧送水装置の基準」(平成 9 年消防庁告示第 8 号)に適合している旨の表示が付されているものにあつては、省略することができる。
- 4 結果の欄には、良否を記入すること。
- 5 非常電源及び配線についての試験結果報告書を添付すること。
- 6 総合操作盤が設けられているものにあつては、総合操作盤についての試験結果報告書を添付すること。

別記様式第十四を次のように改める。

消防機関へ通報する火災報知設備試験結果報告書

試験実施日 年 月 日

試験実施者

住所

氏名

印

用途		()項 .						
延べ面積		m ²		階数	地上	階	地階	階
火災 通報 装置	製造者名		品名・型式		設置場所			
	遠隔起動装置等		設置場所 (個数 個)	(1) (4)	(2) (5)	(3) (6)	自動火災報知設備連動 有・無	
	選択信号送出方式		DP方式(10PPS、20PPS)・PB方式					
その他								
試験項目				種別・容量等の内容			結果	
外 観 試 験	火災 通報 装置	本 体	設置 場所等	設置場所				
				周囲の状況・操作性				
			設置状況					
		構造・性能						
		取扱表示等						
		予備品等						
		電 源	常用電源		V			AH
	予備 電源		種別	NiCd ・ その他()				
		設置状況						
	遠隔 起動 装置等	設置 場所等	設置場所					
			周囲の状況・操作性					
		設置状況						
		構造・性能						
	発 信 機	設置 場所等	設置場所等					
操作部			床面等からの高さ			m		
構造・性能								
予備品等								
標識	標識板							

消防機関へ通報する火災報知設備

試験項目			種別・容量等の内容	結果
機能試験	火災通報装置	起動機能	手動起動装置	
			遠隔起動装置	
		優先通報機能		
		通報頭出し機能		
		蓄積音声情報機能		
		再呼び出し機能		
	通話試験	通話機能等(特定火災通報装置を除く。)	消防機関側からの呼返し状況	
			不応答時の通報継続状況	
			切替状況	
			通話中断時の呼返し状況	
		通話機能等(特定火災通報装置に限る。)	ハンズフリー通話への移行状況	
			切替状況	
			電話回線の保持状況	
		モニター機能		
	電源試験	電源の自動切替機能		
		電圧		V
その他	作動試験	受信完了時間	sec	
		音響装置の作動状況		
使用試験装置				
備考	通報内容： 			

- 備考
- この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
 - 印の試験は「火災通報装置の基準」(平成8年消防庁告示第1号)に適合している旨の表示が付されているものにあつては、省略できる。
 - 結果の欄には、良否を記入すること。
 - 配線についての試験結果報告書を添付すること。
 - 総合操作盤が設けられているものにあつては、総合操作盤についての試験結果報告書を添付すること。

附 則

1 この告示は、平成二十一年四月一日から施行する。

2 この告示による改正後の消防用設備等試験結果報告書の様式を定める件別記様式第三及び別記様式第十四に規定する様式は、前項の規定にかかわらず、平成二十一年九月三十日までの間は、なお従前の例によることができる。

消防用設備等試験結果報告書の様式を定める件の一部を改正する件 新旧対照表
 消防用設備等試験結果報告書の様式を定める件（平成元年消防庁告示第4号）

改正後					現 行								
別記様式第3					別記様式第3								
スプリンクラー設備試験結果報告書					スプリンクラー設備試験結果報告書								
試験実施日 年 月 日					試験実施日 年 月 日								
試験実施者					試験実施者								
住 所					住 所								
氏 名					氏 名								
印					印								
用 途	()項	構 造			用 途	()項	構 造						
延べ面積	m ²	階 数	地上	階 地階	階	m ²	階 数	地上	階 地階				
加圧送水装置の種別	方式				加圧送水装置の種別	方式							
流水検知装置の方式	湿 式		乾 式		予作動式	流水検知装置の方式	湿 式		乾 式				
スプリンクラーヘッド	種 別				スプリンクラーヘッド	種 別							
	設置個数					設置個数							
試 験 項 目		種 別 ・ 容 量 等 の 内 容			試 験 項 目		種 別 ・ 容 量 等 の 内 容			結果			
外	水 源 (水道の用に供する水管を水源とするものを除く。)	水源の種類・構造				外	水 源	水源の種類・構造					
		水 量		m ³ (縦 m 横 m 有効深さ m)				水 量		m ³ (縦 m 横 m 有効深さ m)			
		吸水障害防止措置		有 ・ 無				吸水障害防止措置		有 ・ 無			
		給 水 装 置						給 水 装 置					
		耐 震 措 置		有 ・ 無				耐 震 措 置		有 ・ 無			
設 置 場 所						設 置 場 所							
観 試 験 装 置	加 圧 送 水 装 置	ポンプの仕様	製造者名		定格吐出量 ℓ/min		観 試 験 装 置	加 圧 送 水 装 置	ポンプの仕様	製造者名		定格吐出量 ℓ/min	
			型式		製造番号					型式		製造番号	
		電動機の仕様	製造者名		種別 型電動機				電動機の仕様	製造者名		種別 型電動機	
			型式		定格電圧 V					型式		定格電圧 V	
			製造番号		定格電流 A					製造番号		定格電流 A	
		製造番号		出力 kVA		製造番号			出力 kVA				
		内 燃 機 関 の 仕 様	製造者名		燃料種別				内 燃 機 関 の 仕 様	製造者名		燃料種別	
			型式		定格回転数 r/min					型式		定格回転数 r/min	
			製造番号							製造番号			
		設置状況							設置状況				
接地工事		種接地				接地工事		種接地					
配 線						配 線							
潤 滑 油						潤 滑 油							

スプリンクラー設備

試験項目		種別・容量等の内容	結果	
外観検査	ポンプ・電動機・内燃機関	設置状況		
		接地工事	種接地	
		配線		
		潤滑油		
		燃料タンク		
		蓄電池		
	水温上昇防止のための逃し装置	配管・バルブ類		
		オリフィス等	流過口径 mm	
		ブースターポンプに設ける逃し配管・逃し装置	逃し配管の高さ m 逃し装置の設定圧力 MPa	
		性能試験装置の配管・バルブ類		
	呼水装置	材質	鋼板製・合成樹脂製	
		水量	ℓ	
		溢水用排水管	管の呼び A	
		呼水管	管の呼び A	
		補給水管	管の呼び A	
	制御装置	減水警報装置	フロートスイッチ・電極	
		設置場所		
		制御盤		
		予備品等		
	圧力計・連成計	接地工事	種接地	
		設置位置		
	起動装置	性能	級	
		直接操作部		
		起動用水圧開閉装置	起動用圧力タンク 第2種圧力容器・高圧ガス圧力容器	
		自動式起動装置	タンクの容量	ℓ
			配管・バルブ類	管の呼び A
自動式起動装置		閉鎖型スプリンクラーヘッド		
		自動火災感知装置		
手動式起動装置		設置場所等		
		設置高さ	床面からの高さ m	
		構造		
流水検知装置	表示			
	流水検知装置			
補助水槽				

スプリンクラー設備

試験項目		種別・容量等の内容	結果	
外観検査	水温上昇防止のための逃し装置	配管・バルブ類		
		オリフィス等	流過口径 mm	
		ブースターポンプに設ける逃し配管・逃し装置	逃し配管の高さ m 逃し装置の設定圧力 MPa	
		性能試験装置の配管・バルブ類		
	呼水装置	材質	鋼板製・合成樹脂製	
		水量	ℓ	
		溢水用排水管	管の呼び A	
		呼水管	管の呼び A	
		補給水管	管の呼び A	
		減水警報装置	フロートスイッチ・電極	
	制御装置	設置場所		
		制御盤		
		予備品等		
	圧力計・連成計	接地工事	種接地	
		設置位置		
	起動装置	性能	級	
		直接操作部		
		起動用水圧開閉装置	起動用圧力タンク 第2種圧力容器・高圧ガス圧力容器	
		自動式起動装置	タンクの容量	ℓ
			配管・バルブ類	管の呼び A
		自動式起動装置	閉鎖型スプリンクラーヘッド	
			自動火災感知装置	
		手動式起動装置	設置場所等	
			設置高さ	床面からの高さ m
			構造	
	流水検知装置	表示		
流水検知装置				
高架水槽を用いるもの	構造			
高架水槽を用いるもの	内容積・落差	m ³ m		
	配管・バルブ類			
高架水槽を用いるもの	水位計			

スプリンクラー設備																	
試験項目		種別・容量等の内容	結果														
外	加圧送水装置	高圧用水槽をのり	構造														
		高圧用水槽をのり	内容積・落差	m ³ m													
		高圧用水槽をのり	配管・バルブ類														
		高圧用水槽をのり	水位計														
	高圧用水槽を用いるもの	種類・構造	第2種圧力容器・高圧ガス圧力容器														
	高圧用水槽を用いるもの	内容積・有効圧力	m ³ MPa														
	高圧用水槽を用いるもの	自動加圧装置	有・無														
	高圧用水槽を用いるもの	配管・バルブ類															
	高圧用水槽を用いるもの	水位計・圧力計															
	高圧用水槽を用いるもの	耐震措置	有・無														
観	配管・バルブ類	設置状況															
		機器	配管														
			バルブ類														
			吸水管														
	フート弁																
	防食措置	有・無															
	排水措置	有・無															
耐震措置	有・無																
電源	常用電源	V															
	非常電源の種類	専用受電・自家発電・蓄電池															
試験	スプリンクラーヘッド	放水区域の数・設定状況(開放型スプリンクラーヘッドに限る。)	階														
			放水区域の数														
		設定状況															
	設置方法	機器	開放型スプリンクラーヘッド	配置等													
				配管への取付													
				取付方向													
	機器	開放型スプリンクラーヘッド	閉鎖型スプリンクラーヘッド	表示温度													
構造・性能																	
開放型スプリンクラーヘッド																	
制御弁	弁	設置場所等															
		設置高さ	床面からの高さ m														
		構造															
表示																	

スプリンクラー設備																	
試験項目		種別・容量等の内容	結果														
外	加圧送水装置	高圧用水槽をのり	種類・構造	第2種圧力容器・高圧ガス圧力容器													
			高圧用水槽をのり	内容積・有効圧力	m ³ MPa												
			高圧用水槽をのり	自動加圧装置	有・無												
			高圧用水槽をのり	配管・バルブ類													
		高圧用水槽をのり	水位計・圧力計														
	高圧用水槽を用いるもの	耐震措置	有・無														
	観	配管・バルブ類	設置状況														
			機器	配管													
				バルブ類													
				吸水管													
フート弁																	
防食措置		有・無															
排水措置		有・無															
耐震措置	有・無																
電源	常用電源	V															
	非常電源の種類	専用受電・自家発電・蓄電池															
試験	スプリンクラーヘッド	放水区域の数・設定状況(開放型スプリンクラーヘッドに限る。)	階														
			放水区域の数														
		設定状況															
	設置方法	機器	開放型スプリンクラーヘッド	配置等													
				配管への取付													
				取付方向													
	機器	開放型スプリンクラーヘッド	閉鎖型スプリンクラーヘッド	表示温度													
構造・性能																	
開放型スプリンクラーヘッド																	
制御弁	弁	設置場所等															
		設置高さ	床面からの高さ m														
		構造															
表示																	

スプリンクラー設備				種別・容量等の内容	結果							
試験項目												
外 観 試 験	制御弁	設置場所等										
		設置高さ		床面からの高さ	m							
		構造										
		表示										
	流水検知装置・ 圧力検知装置	設置場所等										
		種別・口径										
		減圧警報										
		構造・性能										
	一斉開放弁	起動操作部	設置場所等									
			設置高さ	床面からの高さ	m							
		作動試験装置										
	構造・性能											
末端試験弁	設置場所											
	構造											
	表示											
自動警報装置		音響警報装置										
		火災表示装置										
送水口	設置場所等		設置場所等									
			設置高さ	地盤面からの高さ	m							
機器		表示										
		結合金具										
逆止弁等		逆止弁等										
		減圧措置		減圧補助水槽・別配管系統・減圧弁								
排水設備（放水型ヘッドを用いるスプリンクラー設備に限る。）												
補助 散 水 栓 等	散水栓	散水栓の設置 個数	階									
			設置個数									
		設置場所										
		周囲の状況・操作性										
		開閉弁の設置高さ		床面からの高さ	m							
ホースの接続等												

スプリンクラー設備				種別・容量等の内容	結果							
試験項目												
外 観 試 験	流水検知装置・ 圧力検知装置	設置場所等										
		種別・口径										
		減圧警報										
		構造・性能										
	一斉開放弁	起動操作部	設置場所等									
			設置高さ	床面からの高さ	m							
		作動試験装置										
		構造・性能										
	末端試験弁	設置場所										
		構造										
		表示										
	自動警報装置		音響警報装置									
火災表示装置												
送水口	設置場所等		設置場所等									
			設置高さ	地盤面からの高さ	m							
機器		表示										
		結合金具										
逆止弁等		逆止弁等										
		減圧措置		減圧補助水槽・別配管系統・減圧弁								
排水設備（放水型ヘッドを用いるスプリンクラー設備に限る。）												
補助 散 水 栓 等	散水栓	散水栓の設置 個数	階									
			設置個数									
		設置場所										
		周囲の状況・操作性										
		開閉弁の設置高さ		床面からの高さ	m							
ホースの接続等												
逆止弁等		逆止弁等										
		減圧措置		減圧補助水槽・別配管系統・減圧弁								
排水設備（放水型ヘッドを用いるスプリンクラー設備に限る。）												
補助 散 水 栓 等	散水栓箱	周囲の状況										
		設置状況										
		材質等										

スプリンクラー設備

試験項目		種別・容量等の内容		結果	
外観試験等	散水栓	消火栓開閉弁			
		周囲の状況			
	散水栓箱	設置状況			
		材質等			
		赤色灯			
		表示			
	ホース・ノズル	ホース(結合金具を含む。)			
		ホース接続口			
		ノズル			
		結合状態			
収納状態		ホースリール式・折畳等収納式			
機能試験	ポンプ	呼水装置作動試験	減水警報装置作動状況	底面からの高さ	cm
			自動給水装置作動状況		
			呼水槽からの水の補給状況		
	制御装置試験	起動・停止操作時の状況等			
		電源切替時の運転状況			
	起動装置試験	ポンプの起動状況等			
		起動表示の点灯状況			
		起動用水圧開閉装置の作動圧力	設定圧力	MPa	作動圧力
	ポンプ試験	運転状況			
		締切り運転時の状況	締切揚程	m	
			電圧	V	
			電流	A	
		定格負荷運転時の状況	定格揚程	m	
			電圧	V	
			電流	A	
	水温上昇防止装置試験		逃し水量	ℓ/min	
	ポンプ性能試験装置試験		表示値の差	ℓ/min	
	高架水槽を用いるもの	作動試験	給水装置作動状況		
静水圧測定		最下位 MPa	最上位 MPa		

スプリンクラー設備

試験項目			種別・容量等の内容		結果
外観試験等	散水栓箱	赤色灯			
		表示			
	ホース・ノズル	ホース(結合金具を含む。)			
		ホース接続口			
		ノズル			
		結合状態			
収納状態		ホースリール式・折畳等収納式			
機能試験	ポンプ	呼水装置作動試験	減水警報装置作動状況	底面からの高さ	cm
			自動給水装置作動状況		
			呼水槽からの水の補給状況		
	制御装置試験	起動・停止操作時の状況等			
		電源切替時の運転状況			
	起動装置試験	ポンプの起動状況等			
		起動表示の点灯状況			
		起動用水圧開閉装置の作動圧力	設定圧力	MPa	作動圧力
	ポンプ試験	運転状況			
		締切り運転時の状況	締切揚程	m	
			電圧	V	
			電流	A	
定格負荷運転時の状況		定格揚程	m		
		電圧	V		
	電流	A			
水温上昇防止装置試験		逃し水量	ℓ/min		
ポンプ性能試験装置試験		表示値の差	ℓ/min		
高架水槽を用いるもの	作動試験	給水装置作動状況			
	静水圧測定		最下位 MPa	最上位 MPa	
圧力水槽を用いるもの	作動試験	給水装置作動状況			
	静水圧測定		最下位 MPa	最上位 MPa	
配管耐圧試験			試験圧力	MPa	

スプリンクラー設備

試験項目				種別・容量等の内容	結果
機能試験	加圧送水装置試験	圧力水槽を用いるもの	作動試験	給水装置作動状況	
				自動加圧装置作動状況	
			静水圧測定	最下位 MPa 最上位 MPa	
	配管耐圧試験			試験圧力	MPa
	手動式起動装置試験				
流水検知装置・表示等					
総合試験	放水試験	放水区域			
		開放型スプリンクラーヘッドを用いるもの	起動性能等	自動火災感知装置による起動	
				手動起動装置による起動	
		階			
	閉鎖型スプリンクラーヘッドを用いるもの	起動性能等			
		放水圧力 (MPa)			
	放水量 (ℓ/min)				
	補助散水栓	放水圧力		MPa	
		放水量		ℓ/min	
	補助散水栓操作性試験				ホースリール式・折畳等収納式
非常電源切替試験	自家発電設備				
	蓄電池設備				
備考					

- 備考1 この用紙の大きさは、日本工業規格 A 4 とすること。
 2 選択肢のある欄は、該当する事項を 印で囲むこと。
 3 印の試験は、「加圧送水装置の基準」(平成 9 年消防庁告示第 8 号)に適合している旨の表示が付されているものにあつては、省略することができる。
 4 結果の欄には、良否を記入すること。
 5 非常電源及び配線についての試験結果報告書を添付すること。
 6 総合操作盤が設けられているものにあつては、総合操作盤についての試験結果報告書を添付すること。

スプリンクラー設備

試験項目				種別・容量等の内容	結果
手動式起動装置試験					
流水検知装置・表示等					
総合試験	放水試験	放水区域			
		開放型スプリンクラーヘッドを用いるもの	起動性能等	自動火災感知装置による起動	
				手動起動装置による起動	
		階			
	閉鎖型スプリンクラーヘッドを用いるもの	起動性能等			
		放水圧力 (MPa)			
	放水量 (ℓ/min)				
	補助散水栓	放水圧力		MPa	
		放水量		ℓ/min	
	補助散水栓操作性試験				ホースリール式・折畳等収納式
非常電源切替試験	自家発電設備				
	蓄電池設備				
備考					

- 備考1 この用紙の大きさは、日本工業規格 A 4 とすること。
 2 選択肢のある欄は、該当する事項を 印で囲むこと。
 3 印の試験は、「加圧送水装置の基準」(平成 9 年消防庁告示第 8 号)に適合している旨の表示が付されているものにあつては、省略することができる。
 4 結果の欄には、良否を記入すること。
 5 非常電源及び配線についての試験結果報告書を添付すること。
 6 操作盤が設けられているものにあつては、操作盤についての試験結果報告書を添付すること。

消防機関へ通報する火災報知設備試験結果報告書										
					試験実施日 年 月 日					
試験実施者										
住所										
氏名 印										
用途	()項									
延べ面積	m ²			階数		地上階		地階		階
火災通報装置	製造者名		品名・型式		設置場所					
	遠隔起動装置等		設置場所 (個数 個)	(1)	(2)	(3)	自動火災報知設備連動		有・無	
	選択信号送出方式		DP方式 (1 0 P P S、 2 0 P P S)・PB方式							
その他										

試験項目		種別・容量等の内容							結果		
外観試験	火災通報装置	本体	設置場所等	設置場所							
				周囲の状況・操作性							
			設置状況								
		遠隔起動装置等	構造・性能								
			取扱表示等								
			予備品等								
			電	常用電源	V				AH		
	源	予備種別	NiCd ・ その他 ()								
	源	電源設置状況									
	その他	発信機	設置場所等	設置場所							
				周囲の状況・操作性							
			設置状況								
		構造・性能									
		取扱表示等									
予備品等											
標識		標識	床面等からの高さ						m		

消防機関へ通報する火災報知設備試験結果報告書										
					試験実施日 年 月 日					
試験実施者										
住所										
氏名 印										
用途	()項									
延べ面積	m ²			階数		地上階		地階		階
火災通報装置	製造者名		品名・型式		設置場所					
	遠隔起動装置等		設置場所 (個数 個)	(1)	(2)	(3)	自動火災報知設備連動		有・無	
	選択信号送出方式		DP方式 (1 0 P P S、 2 0 P P S)・PB方式							
その他										

試験項目		種別・容量等の内容							結果		
外観試験	火災通報装置	本体	設置場所等	設置場所							
				周囲の状況・操作性							
			設置状況								
		遠隔起動装置等	構造・性能								
			取扱表示等								
			予備品等								
			電	常用電源	V				AH		
	源	予備種別	NiCd ・ その他 ()								
	源	電源設置状況									
	その他	発信機	設置場所等	設置場所							
				周囲の状況・操作性							
			設置状況								
		構造・性能									
		取扱表示等									
予備品等											
標識		標識	床面等からの高さ						m		

消防機関へ通報する火災報知設備

		試験項目		種別・容量等の内容	結果
機能試験装置	火災試験	通報機能	起動	手動起動装置	
			遠隔起動装置		
		優先通報機能			
		通報頭出し機能			
		蓄積音声情報機能			
	再呼び出し機能				
	通話試験	通話機能等(特定火災通報装置を除く。)	消防機関側からの呼返し状況		
			不応答時の通報継続状況		
			切替状況		
		通話機能等(特定火災通報装置に限る。)	通話中断時の呼返し状況		
			ハンズフリー通話への移行状況		
			切替状況		
	電源試験	電源の自動切替機能			
		電圧	V		
その他	作動試験	受信完了時間	sec		
		音響装置の作動状況			

使用試験装置

備考 通報内容：

- 備考
- この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
 - 印の試験は「火災通報装置の基準」(平成8年消防庁告示第1号)に適合している旨の表示が付されているものにあつては、省略できる。
 - 結果の欄には、良否を記入すること。
 - 配線についての試験結果報告書を添付すること。
 - 総合操作盤が設けられているものにあつては、総合操作盤についての試験結果報告書を添付すること。

消防機関へ通報する火災報知設備

		試験項目		種別・容量等の内容	結果
機能試験装置	火災試験	通報機能	起動	手動起動装置	
			遠隔起動装置		
		優先通報機能			
		通報頭出し機能			
		蓄積音声情報機能			
		再呼び出し機能			
	通話試験	通話機能等(特定火災通報装置を除く。)	消防機関側からの呼返し状況		
			不応答時の通報継続状況		
			切替状況		
		モニタ－機能	通話中断時の呼返し状況		
			電源の自動切替機能		
			電圧	V	
	その他	作動試験	受信完了時間	sec	
			音響装置の作動状況		

使用試験装置

備考 通報内容：

- 備考
- この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
 - 印の試験は「火災通報装置の基準」(平成8年消防庁告示第1号)に適合している旨の表示が付されているものにあつては、省略できる。
 - 結果の欄には、良否を記入すること。
 - 配線についての試験結果報告書を添付すること。
 - 操作盤が設けられているものにあつては、操作盤についての試験結果報告書を添付すること。